

平成 27 年第 1 回福岡市議会（定例会）提出意見書案概要

意見書案第 1 号 ヘイトスピーチの根絶のための早急な対策を求める意見書案

特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動がいわゆるヘイトスピーチとして大きな社会問題となっている中、司法により、ヘイトスピーチは人種差別撤廃条約にいう「人種差別」に該当し、表現の自由の濫用であって、法的保護に値しないと判断された。また、国連人種差別撤廃委員会が「人種差別を禁止する特別かつ包括的な法」を整備するよう、日本政府に対し勧告していることから、民族差別をあおるヘイトスピーチを根絶するため、立法措置を含めた早急な対策を講じるよう要請するもの。

意見書案第 2 号 介護報酬改定に関する意見書案

厚生労働省は、介護報酬の平成 27 年 4 月からの改定額を決定したが、その内容は、特別養護老人ホームや通所介護等に対する基本報酬を大幅に引き下げるなど、介護報酬全体で過去最大規模である 2.27%のマイナス改定となっている。消費税増税や物価高などで介護事業の経費が増える中、マイナス改定を実行すること自体、介護の様々な分野で深刻な矛盾を引き起こすのは明らかであるため、介護報酬の削減を撤回し、国民負担増を避ける工夫をしつつ増額に踏み切るよう要請するもの。

お問い合わせ

議会事務局調査法制課

電話番号 : 092-711-4749

F A X 番号 : 092-733-5869